

第 13 回定例教育委員会 会議録

開催月日 平成30年1月5日(金)

開催時間 午前10時30分から午前11時04分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 守屋 守
教育長職務代理者 飯室 元邦
教育長職務代理者 和田 一枝
委員 野田 清紀、武者 稚枝子、三塚 憲二

出席職員 教育次長 若林 一紀
教育監 渡井 渡
教育監 奥田 正治
学力向上対策監 佐野 修
次長(総務課長) 末木 憲生
福利給与課長 諏訪 桂一
学校施設課長 望月 啓治
義務教育課長 嶋崎 修
高校教育課長 手島 俊樹
高校改革・特別支援教育課長 成島 春仁
社会教育課長 岩下 清彦
スポーツ健康課長 前島 斉
学術文化財課長 百瀬 友輝
国体推進室長 三井 勉
企画調整主幹 藤原 鉄也
総務課総括課長補佐 本田 晴彦
政策企画監(総務課課長補佐) 武井 俊人
総務課課長補佐 若月 衛
総務課課長補佐 望月 勝一
総務課副主幹 保垣 利恵

高校改革・特別支援教育課教育課
課長補佐 小林 俊一郎
主幹 篠原 健
主査 後藤 貴樹
主査 山田 幸雄

傍聴人 0名

報道 1名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

新年を迎え最初の委員会のため、教育長から一言あいさつがあった。

1 議 案 な し

2 報告事項 な し

3 その他報告

(15) 平成29年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について

〔説明〕高校改革・特別支援教育課

野田委員 4点質問がある。1点目、就職希望者の就職の希望先はどんなところが多いのか。2点目、就職希望の理由は学力的な問題なのか、経済的な問題なのか。3点目、各種学校とはどのような学校が多いのか。4点目、本県の進学希望率は全国的に見るとどの位置にあるのか。

成島課長 1点目、2点目については、今回の調査では調査対象となっていないので、

わからない。義務教育課とともに状況を把握していないので、別途照会を行い、報告する。3点目についても、具体的な学校名については調査していない。調理師や美容師等を養成する学校が多いと聞いているが、その数はわからない。4点目について、全国的な比較はしていない。高校への進学率について、他の統計資料等を用いて確認し、おって報告する。

武者委員 希望理由調査結果はわかりやすいものとなっている。この結果は各学校に反映されるのか。

成島課長 調査結果は各学校にフィードバックを行う。学校ごとに、どのような理由で選ばれたのか承知し、今後の中学生へのPR等に活用してもらいたい。

守屋教育長 これまでの委員会での意見を反映し、改善を加えた調査を行った結果、興味深いデータとなった。この結果をどう生かすか、原課で検討して頂きたい。子どもたちが学力だけで進学先を選ぶのではなく、部活動を含めた特色を出し、ここしかないという理由での進学ではなくなるように各学校ではこのデータを元に取組を行ってもらいたい。
なお、工業科希望が1割以上減っていることについては何か理由があると考えられるので、その理由を調べて欲しい。家庭の経済環境の改善により大学進学希望が増え、大学進学に有利な普通科や総合学科に流れた結果なのか、それが今後の大学無償化の影響も受ける可能性もあるので、外的環境によるものなのか否かで状況が変わってくるので、その理由は把握しておくべきである。

和田委員 細かい分析がされていてわかりやすいものとなっている。
不登校の生徒の状況、進学を希望しているのか就職なのか、未定なのか等についてはわかるか。

成島課長 不登校の生徒についても本人の希望を調査し、その結果を得ているが、その回答結果について、公立なのか私立なのか、全日制なのか定時制なのか等について今回の調査結果とはリンクさせていないので、現状ではわからない。

和田委員 発達障害でも、自閉症や情緒障害の子は支援学校に行けないが、それらの子どもたちがどのような進路を選ぶのか知りたい。知り得る範囲では、私立学校や定時制・通信制に行っている子が多いがはっきりしたところを知りたい。

成島課長 桃花台学園だけでなく私立学校や定時制・通信制に行っていると承知しているが正式に調査、分析したものがないので、何らかの方法を考えていきたい。

【 了 知 】

(16) 平成30年度山梨県公立高等学校全日制課程における再募集の検査方法について

[説明] 高校改革・特別支援教育課

野田委員 学力検査を行う上野原高校は、学力検査の結果で不合格ということもありうるのか。

成島課長 不合格にすると聞いている。

【 了 知 】

(教育長閉会宣言)